

地震対応 ポケットマニュアル



財布などに入れて常時携帯してください。
上記二次元バーコードからこのマニュアルを
取り込むことができます。

京都産業大学

大地震：初期行動のステップ

自身の安全確保

周囲の安全に注意し、避難・待機
※教員は放送等の指示に従い、学生を緊急時避難場所
(神山ホール)まで誘導してください

本学への安否報告

【初期行動の心構え】

- ・安全を確保し、冷静に状況把握
- ・教職員の指示に従う

安全確保の基本行動

(事前に読んでおきましょう！)

●屋内にいるとき

- 机やテーブルの下に隠れる。
- 揺れがおさまったら火を消す。
- あわてて外に飛び出さない。

●屋外にいるとき

- 頭を鞆や着衣で保護する。
- 安全な建物内に急いで入る。
- または広場や公園などに避難する。

●電車や地下鉄車内のとき

- 吊革等にしっかりつかまる。
- 乗務員の指示に従い冷静に行動する。
- ドアを開けたり線路に降りたりしない。

●車を運転中のとき

- 徐々に速度を落とす。
- 左側に寄せエンジンを切る。
- 揺れがおさまるまで外に出ない。
- 降りて逃げるときはキーはそのまま
ドアロックもしない。

緊急時避難場所

学生・教職員の避難場所は、神山ホールです。教職員からの指示・放送に従い、周囲の安全に注意しながら避難してください。
なお、総合体育館は隣近住民等の避難場所になります。

【キャンパス内の 避難場所】



緊急時の情報発信

大地震が発生した場合の各種情報（休校や授業再開に関する情報等）は、本学ホームページに掲載する予定です。

【京都産業大学ホームページ】
<https://www.kyoto-su.ac.jp/>



本学への安否報告手順（1）

避難場所等に避難した後、怪我などがないかを報告してください。

【安否報告手順】

- ①職員から安否確認シートを配付します。必要事項を記入し、職員に渡してください。
- ②避難場所を離れる場合は、その旨を職員に伝えてください。

【安否確認シートイメージ】

| 安否確認シート | |
|--------------|---|
| 氏名 | カナ氏名： 漢字氏名 (ローマ字) |
| 学生・教職員等 | 学生・教員・職員・その他(来客者・近隣住民・業者) |
| 学部 | 経済・経営・法・文・理・農・工・医・情報理工・コンピュータ・創造・芸術・国際・保健 |
| 所属 | 学内所属/来客者が記入 |
| 性別 | 男 女 |
| 生年月日 (西暦) | 年 月 日 生まれ |
| 記入日時 | 月 日 (午前・午後) 時 分 |
| 学生 → 学生証番号 | |
| 教職員 → 職員番号 | |
| 連絡先 (電話番号など) | ※携帯電話より連絡可能な番号を記入してください。 |
| ケガの有無 | 1 無 2 有 () |
| 本シート記入後の予定 | 1 学内に留まる 2 帰宅先 (自宅/下宿先/寮など) に帰る 3 その他 () |

本シートは、学内にいる方の安否を確認するためのシートです。所属の所属箇所を必ず記入し、所属先を記入してください。
 本シート記入後、担当者より移動の案内があるまでの間、今の場所に待機して下さい。

本学への安否報告手順（2）

大地震が発生した場合、本学は皆様からの連絡に基づいて安否確認を行います。地震発生時に学内にいない場合は、下記アドレスにメールで連絡してください。メールが使用できない場合は、はがきで連絡してください。

| | |
|----------|---|
| メールによる報告 | 安否報告専用メールアドレス anpi-houkoku@star.kyoto-su.ac.jp |
| はがきによる報告 | はがき送付先 〒603-8555 京都市北区上賀茂本山 京都産業大学 危機対策本部行 |

報告事項は次のとおりです。

- ① 氏名
- ② 学生証番号または職員番号
- ③ 本人・家族の状況
- ④ 自宅や避難場所付近の状況
- ⑤ 避難している場合は避難先の住所、連絡先等
- ⑥ その他

※上記メールアドレスは、緊急時のみ使用可能です。
 平常時は使用できません。

緊急時パーソナルメモ

離れ離れで被災したときの行動方針や約束事を家族で話し合っておきましょう。

| | |
|-------|--------------------------------|
| 1 氏名： | 自宅：() - 携帯：() - E-mail |
| 2 氏名： | 自宅：() - 携帯：() - E-mail |
| 3 氏名： | 自宅：() - 携帯：() - E-mail |

災害用伝言ダイヤルの使い方

家族間で活用方法を確認しておきましょう。
 ●操作方法

1. **171**をダイヤル
2. [音声ガイド]
1 ⇒ 録音 **2** ⇒ 再生
3. [音声ガイド]
 被災地の方：自宅の電話番号
 被災地以外の方：被災地の方の自宅の電話番号をダイヤルする
4. [音声ガイド]
1#
5. [音声ガイド]
9# ⇒ 録音・再生

注意

携帯電話からも録音・再生することができます。
 ただし、「携帯電話番号」を伝言の登録に使うことはできません。

